

《春期講習会前新設講座》 『中1英語完璧入門』開講のお知らせ

〈はじめに〉

来年度は中学校の4年に1回の教科書改訂年です。これまで何度も改定を見てきましたが、ここまでの大改定ははじめてです。

2020年の小学校の英語必修化により、ある程度の内容は小学校で習った前提での改定となるからです。例えば、『New Horizon Elementary小6』の最後の2項目ではこれまで中1・2学期に習っていた過去形、中2で習っていたto不定詞・動名詞が教えられています。

中1英語には中学英語の、というより英語を母語としない学習者が身につけるべき基本中の基本がつまっています。LOOPでは中2以上の入塾希望者の面談で必ず中1英語の問題を数問解かせて、「英語学習のスタートライン」を引きます。高校生でも同様です。中1英語の次には高1の英語の問題を解かせます。中2・3の英語の内容は高校で改めて教えることができるからです。その意味でこの範囲の理解／不理解は後の英語力に決定的な意味を持ちます。これまで多くの生徒を教えてきましたが、中2・3で英語が崩れた生徒も、高1で崩れた生徒も立て直すのは難しくありませんでした(中2・3の英語も高校生に教える方法論で教えた方が実は有効であるので)。ただし、中1英語だけは専用に教えなければならない、簡単そうに見えて実はプロが教えるべき特別な内容、つまり《不可欠な基礎》であるのです。

今回の改定で見た教科書の中にはUnit1というひとつの項目内に、本来は分けて教えるべきbe動詞と一般動詞を連続して教えるだけでなく、助動詞まで

入れているものもありました(ちなみにUnit 3にはto不定詞が入っていました)。プロが見れば「教えるの大変だろうな」、「習う方はもっと大変だろうな」という内容です。語彙もかなりきついものまで含まれています。これまで以上に早期に差がつきそうな内容です。

現在、様々な分野で「格差」がキーワードになっています。学習塾は実はそれと関わる場所でもあるのです。高3で大きく学力差をつけられている生徒を、何とか志望校に入れるのは私たちの大きな仕事のひとつです。同時に中1から大きな差をつけて、早く大学入試の難問や志望校の過去問に触れられるようにするのも私たちの大切な仕事です。

この大改定時に、生徒が4月から混乱するであろう文法項目をきれいに整理し、英語はわかりやすい言語なのだ(科目というとらえ方でなく)と思ってもらい、最高のスタートを切れるよう、この講座を新設します。

<内容>

- 日時 2月27日(土)・3月6日(土)・13日(土)
10:00~12:00<2時間×3回>
- 講師 LOOP中学英語専任講師
- 受講形式 対面/オンラインの選択式
- ※ 対面授業時に受講が難しい場合は録画での受講も可能です。
- 受講定員 6名程度
- 教材 講師オリジナルテキスト
- 受講料 16,500円<税込み>
- ☆春期講習会<3月後半を予定>を受講できる生徒には、この講座の続きの内容を扱う専用クラスを開設予定です(後日ご案内します)☆